

# ライセンス調達仕様書

| 業 務 名 : 令和9～13年度 富谷市立小中学校学習支援ツール利用料<br>契約期間 : 契約締結日の翌日 から 令和14年3月31日<br>ライセンス利用期間 : 令和9年4月1日 から 令和14年3月31日<br>施行場所 : 富谷市 地内 |                         |                                         |      |       |        |         |                    |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------|-----------------------------------------|------|-------|--------|---------|--------------------|
| 項番                                                                                                                          | 業務名称                    | 概要                                      | 数 量  | 単 位   | 単価 (円) | 金 額 (円) | 備 考                |
| 1                                                                                                                           | 小中学校学習支援クラウドツール 利用ライセンス | 利用期間:<br>令和9年4月1日から令和14年3月31日<br>(60か月) | 4800 | ライセンス |        |         | 60か月分<br>別添仕様書のとおり |
|                                                                                                                             | 対面型研修                   |                                         | 3    | 回     |        |         | 別添仕様書のとおり          |
|                                                                                                                             | 以下余白                    |                                         |      |       |        |         |                    |
| 小 計                                                                                                                         |                         |                                         |      |       |        |         | (A)                |
| 消 費 税 額 (A)×0.1                                                                                                             |                         |                                         |      |       |        |         | (B)                |
| 税 込 合 計                                                                                                                     |                         |                                         |      |       |        |         | (C)                |
| 年額 (C)÷5                                                                                                                    |                         |                                         |      |       |        |         |                    |

富 谷 市

## 令和 9 ～ 13 年度 富谷市立小中学校学習支援ツール利用料 仕様書

### 1 業 務 名 令和 9 ～ 13 年度 富谷市立小中学校学習支援ツール利用料

### 2 業務目的

本業務は、国の提示する GIGA スクール構想に基づき、本市小中学校に導入するタブレット端末にて利用する。本ツールにより、児童生徒の「主体的・協働的な学び」の推進に寄与することを目的とする。

併せて、文科省が提唱する不登校対策「COCOLO プラン」にて提示のあった「ICT 機器を活用した心の健康観察」機能を導入し、本市立小中学生の誰一人取り残されない学びの保障に向けた取組みを、行うものである。

### 3 業務概要

富谷市立小中学校にて利用する、学習支援ツールライセンスの調達および導入研修（利用期間中のサポート対応を含む）

### 4 契約履行期間

契約締結日の翌日 から 令和 14 年 3 月 31 日まで

但し、ライセンス利用期間は 令和 9 年 4 月 1 日～令和 14 年 3 月 31 日とし、令和 9 年 4 月 1 日から利用開始できるよう契約締結後速やかに環境構築を行うこと。また、導入研修は、令和 8 年度中に完了すること。

### 5 業務場所

富谷市役所および富谷市立小・中学校 13 校

### 6 ライセンス数量

児童生徒用 4, 800 ライセンス

心の健康観察機能を有すること。

また、教員分は、ライセンス料が不要のものとする。

### 7 調達に係る要件

#### (1) 一般事項

児童生徒が学校及び家庭において 1 人 1 台端末（タブレット端末）で利用できるものであること。なお、利用端末は iPad 第 11 世代であり、授業や家庭学習で使用することを主目的として想定している。

本番環境の利用開始は令和 9 年 4 月から 60 か月間であるが、事前研修・アカウント登録等を行うため、契約締結後速やかに利用可能な環境を提供すること。

## (2) 機能等

本調達物品においては、別表「機能等要件一覧」に記載する機能等を備えること。なお、本要件に記載の事項は既に本ツールに実装済みであり、自治体での稼働実績がを持つこととする。

参考品：株式会社 Mikulak 製 Class Cloud

## (3) 導入研修

本稼働前に、教職員向けの操作・活用研修を実施すること。教職員が、授業の作成手順やワークシート等の作り方、児童生徒側の操作方法を習得できるような内容とすること。

研修は、開発元もしくは開発元の認定を受けた研修担当者が実施すること。また、対面方式による最大3回の研修とするが、オンライン配信の併用など、教職員が参加しやすい方式で行うこと。詳細は受注者との協議とする。

また、教職員向けに PDF や動画によるマニュアルを提供すること。

## 8 その他

- (1) 支払にあたっては、全費用を5等分し、各年度末に12ヶ月分を一括で支払う。
- (2) 受注者は、本業務の実施にあたって、関係法令及び条例を遵守すること。
- (3) 本書に定めるもののほか、必要な事項は、本市と受注者で協議の上定める。

(別紙) 機能等要件一覧

(1) 機能要件

| 大項目      | 中項目            | 要件                                                                   |
|----------|----------------|----------------------------------------------------------------------|
| アカウント    | QRコードログイン      | ワンタイムQRコードでのログイン方式に対応すること。                                           |
|          | SSO対応          | Google、Microsoftでのシングルサインオン方式に対応すること。                                |
|          | アカウント登録        | CSVでの一括アカウント登録が可能であること。                                              |
|          | 年次更新           | CSVでの一括アカウント年次更新が可能であること。                                            |
|          | クラス作成          | CSVインポートにより自動的にクラスが作成されること。                                          |
|          | 教育委員会アカウント     | 教育委員会アカウントから児童生徒の自治体内の転入出の登録ができること。                                  |
| 教員仕様     | リアルタイムモニタリング   | 児童生徒の作成途中の資料をリアルタイムに教員アカウントでモニタリングできること。                             |
|          | 評価機能           | 児童生徒の投稿をA,B,Cなどの定量軸で評価できること。                                         |
| 投稿仕様     | 投稿へのリアクション機能   | 投稿に対して絵文字リアクションができること。                                               |
|          | コメントへのリアクション機能 | コメントに対して絵文字リアクションができること。                                             |
|          | 不快投稿報告         | 児童生徒が不快な投稿やコメントを教員に報告できる機能を提供する。                                     |
|          | かな変換           | 児童の学年に合わせた、テキストの漢字からひらがなへの変換ができること。                                  |
| 資料作成機能   | 資料の参照と使用       | 資料作成機能上で、教員が設定した資料を閲覧でき、それを作成中の資料上に複製できること。                          |
|          | 過去の投稿の参照と使用    | 資料作成機能上で、図形間の距離が表示できること。                                             |
|          | 共同編集機能         | 画像、図形、テキストが挿入できる、共同編集ができる機能があること。                                    |
|          | ファイルの添付        | 作成する資料にPDF、PowerPoint、Word、Excelをそのままのファイル形式で添付できること。                |
| 比較機能     | 動画比較機能         | 動画比較ページが存在し、動画の同時再生や、透過して重ね合わせることができること。                             |
| 学習履歴     | 前年度の成果物の閲覧     | 各アカウントは学校が変わっても前年度以前の自身の成果物をアプリ内で閲覧可能であること。                          |
|          | 閲覧形式           | 各児童生徒の複数の授業における成果物を、複数人まとめて、閲覧することができること。                            |
| 分析       | 分析レポート生成       | 学期内のデータから、各児童生徒のクラス内の交友関係が図示されること。                                   |
|          | 分析レポート生成       | 授業のデータから得られる、各児童生徒のコメントの量とコメントされる量がプロットされる図が表示されること。                 |
|          | AI利用状況レポート     | 児童生徒とAIのやりとりの利用状況をレポートとして教員が確認できること。                                 |
| 交流機能     | 他校との交流         | 他の自治体の学校と交流の募集を行える掲示板がアプリ内にあること。                                     |
|          | 匿名・共有設定        | 他校との交流時はアカウント名はニックネームとなること。                                          |
| 生成AI     | 分析機能           | 児童生徒の成果物に対して、生成AIが分析する機能を持つこと。                                       |
|          | 児童生徒の利用        | 資料作成画面において、ホワイトボード上の生成AIから児童生徒が学習状況に応じたフィードバックを得ることができること。           |
|          | スライド教材の生成      | スライド教材をAIが自動生成できること。                                                 |
|          | 所見作成           | アプリ上の授業での成果物をもとに、児童生徒ごとの所見を、AIへのプロンプト入力なしでAIが自動生成できること。              |
|          |                |                                                                      |
| 心の健康観察機能 | 提供形態           | 授業支援機能と同一のシステム・同一のアカウントで心の健康観察機能が提供され、児童生徒・教員が別途ログインや別アプリの起動を要しないこと。 |
|          | 記録の入力方法        | 児童生徒が一人一台端末から、自身の心の状態を天気等の直感的なスタンプから選択するだけで記録できること。                  |
|          | 記録画面の自動表示      | 児童生徒がアプリを開いた際、その時間帯の記録が未入力であれば記録画面が自動的に表示されること。                      |
|          | 児童生徒による振り返り    | 児童生徒が自身の記録を、カレンダー形式、期間を指定した一覧形式、グラフ形式で振り返ることができること。                  |
|          | 児童生徒のコメント      | 児童生徒が記録に自由記述のコメントを添えることができ、チャット形式で双方向にやりとりできること。                     |
|          | コメントの編集・削除履歴   | 児童生徒がコメントを編集・削除した場合も、教員は編集前および削除済みの内容を閲覧でき、それらもアラート検知の対象となること。       |
|          | 教員による記録の閲覧     | 教員が日次・週次・月次を指定して児童生徒の記録を一覧できること。                                     |
|          | 学級一覧の表示        | 学級ごとの一覧に、アラート件数、天気の内訳が表示されること。                                       |
|          | アラートの検知方式      | ネガティブな状態の継続などでアラートを発出できること。                                          |
|          | 注意ワードの設定       | 子どものコメントのアラート対象となる注意ワードを学校または教育委員会が設定できること。                          |
|          | 教員からの返信        | 教員が児童生徒の記録にコメント返信および絵文字リアクションを返せること。                                 |
|          | 対応記録           | 児童生徒への対応内容を記録して他の教員と共有できること。                                         |
|          | ダッシュボード        | 教育委員会向けと学校向けのダッシュボードで活用状況が閲覧できること。                                   |
|          | データ出力          | 記録および集計結果をCSVまたはGoogleスプレッドシートに出力できること。                              |
|          | 児童生徒の閲覧制限      | 児童生徒は他の児童生徒の記録を一切閲覧できないこと。                                           |

(2) 非機能要件

| 大項目                    | 中項目       | 要件                                                                                           |
|------------------------|-----------|----------------------------------------------------------------------------------------------|
| 運用サポート体制<br>(ヘルプデスク体制) | 体制        | 学校・教育委員会からの問い合わせを受け付ける一次窓口（保守事業者）と、システムの調査・修正を行う開発元の二段構えのヘルプデスク体制を整備すること。                    |
|                        | 一次窓口の要件   | 一次窓口については受注者およびその協力事業者、開発元等による連携体制のもと運用するものとする。                                              |
|                        | 一次窓口対応者要件 | 認定を受けた担当者は、開発元の研修を受け、授業支援システムの機能・仕様を把握していること。                                                |
|                        | 一次窓口受付対応  | 電話・メールによるものとし、受付時間は平日のみの9時～16時とする。また、アプリ内からのチャット機能による各教員からの問合せも利用できること。必要に応じて学校への訪問対応ができること。 |
|                        | 開発元への確認   | 一次窓口で回答できない内容は、一次窓口が開発元に問い合わせて詳細な回答を得たうえで、学校・教育委員会に回答すること。                                   |
|                        | 不具合・障害の対応 | システムの不具合・障害は一次窓口から開発元に引き継ぎ、開発元が原因の調査と修正を行い、結果を一次窓口を通じて報告すること。                                |
|                        | 障害時の連絡    | 障害発生時は教育委員会へ速やかに連絡し、経過、復旧、原因、再発防止策を報告すること。                                                   |
|                        |           |                                                                                              |
| システム稼働要件               | 提供形態      | クラウドサービス（SaaS）として提供し、Webブラウザで動作すること。端末への専用ソフトウェアのインストールを要しないこと。                              |
|                        | 対応環境      | Windows、ChromeOS、iPadOSの各端末で動作すること。                                                          |
|                        | クラウド環境    | 国内の主要なパブリッククラウド（Amazon Web Services等）の国内リージョンで運用し、データを日本国内に保管すること。                           |
|                        | クラウド環境    | クラウドサービスの利用およびサーバの設置場所に国内法が適用されること。                                                          |
|                        | 通信の暗号化    | インターネットを経由するすべての通信を暗号化していること。                                                                |
|                        | 脅威対策      | 不正アクセス・マルウェア等の脅威を常時監視し、設定の逸脱を継続的に検知する仕組みを備えること。OS・ライブラリを継続的に更新すること。                          |
|                        | 情報セキュリティ  | サービス提供事業者（開発元）が情報セキュリティマネジメントシステム（ISMS、ISO/IEC 27001）の認証を取得していること。                           |
|                        | バックアップ    | データベースを日次で自動バックアップすること。                                                                      |
|                        | 管理体制      | 開発元に運用責任者を置き、ISMSに基づき、変更管理、アクセス権の管理、個人情報の取り扱いを行うこと。                                          |
|                        | トラブル時対応   | 重大な障害を検知した場合は速やかに一次切り分けを行い、一次窓口へ連絡すること。業務停止を伴う障害は当日中の復旧を目標とし、復旧後に原因と再発防止策を報告すること。            |
|                        | トラブル時対応   | 重大な障害の場合は速やかに対策会議を開催し、教育委員会へ経過と改善策を報告すること。                                                   |
|                        | メンテナンス    | 業務停止を伴うメンテナンスは授業時間外（夜間・休日）に実施すること。                                                           |
| システムサポート               | ネットワーク要件  | 学校のフィルタリング等で許可が必要な接続先（ドメイン）の一覧を提供すること。                                                       |
|                        | バージョンアップ  | 契約期間中、機能の改善・追加を継続的にを行い、原則としてバージョンアップを追加費用なく提供すること。                                           |
|                        | 環境変化への対応  | OS・ブラウザの更新、年次更新、学校の統廃合などに追加費用なく追従すること。                                                       |
|                        | セキュリティ更新  | 脆弱性情報を継続的に把握し、修正を速やかに適用すること。                                                                 |
|                        | 要望の反映     | 学校・教育委員会からの機能要望を受け付け、開発計画に反映できる仕組みを備えること。                                                    |